

新規事業採択時評価

【河川事業】

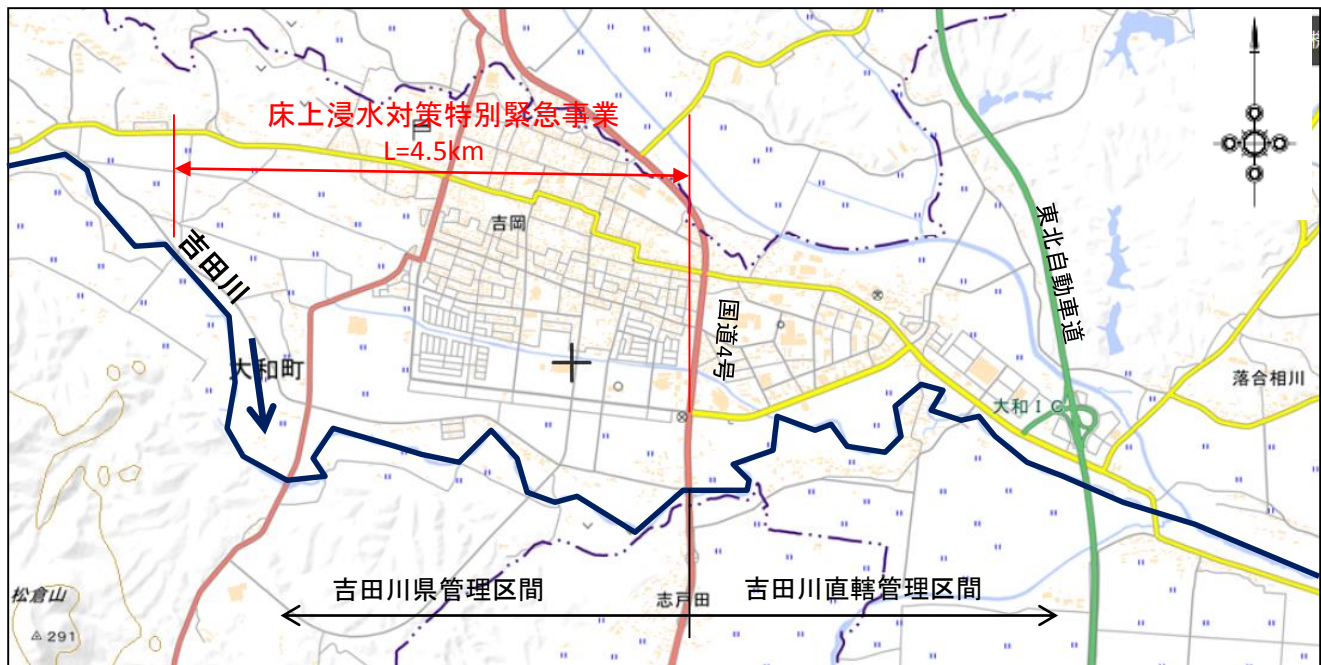
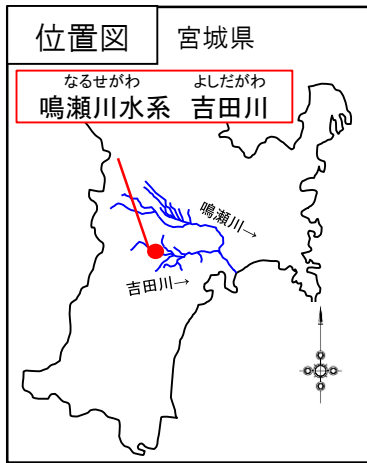
(補助事業)

- 吉田川床上浸水対策特別緊急事業 1
- 不老川床上浸水対策特別緊急事業 3
- 八田川・地蔵川床上浸水対策特別緊急事業 5

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	吉田川床上浸水対策特別緊急事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 泊 宏	事業 主体	宮城県												
実施箇所	宮城県黒川郡大和町																
主な事業 の諸元	河道掘削, 築堤, 橋梁架替等																
事業期間	事業採択	平成29年度	完了	平成33年度													
総事業費 (億円)	約64																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田川は、大和町市街地南側を流下しており、現況流下能力が低く、平成23年9月台風15号、平成27年9月関東・東北豪雨により床上浸水被害等が発生。 ・特に、平成27年9月関東・東北豪雨では、床上浸水83戸、床下浸水31戸の甚大被害が発生したことから、流下能力不足区間L=4.5kmについて下流直轄区間と連携を計り早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間L=4.5kmの整備を完了し、平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数:22戸 年平均浸水軽減面積:37ha																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成28年度															
	B:総便益(億円)	147	C:総費用(億円)	59	B/C 2.5 B-C 88 EIRR (%) 12.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.3</td> <td>~ 2.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.5</td> <td>~ 2.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.7</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.8	残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5	資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.7
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	2.3	~ 2.8															
残工期(+10%~-10%)	2.5	~ 2.5															
資産(-10%~+10%)	2.2	~ 2.7															
事業の効果等	・平成27年9月関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して、浸水被害を解消する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成29年1月に学識者懇談会を開催しており、県が今後計画している改修区間の整備については妥当という意見をj得ている。																

吉田川床上浸水対策特別緊急事業位置図

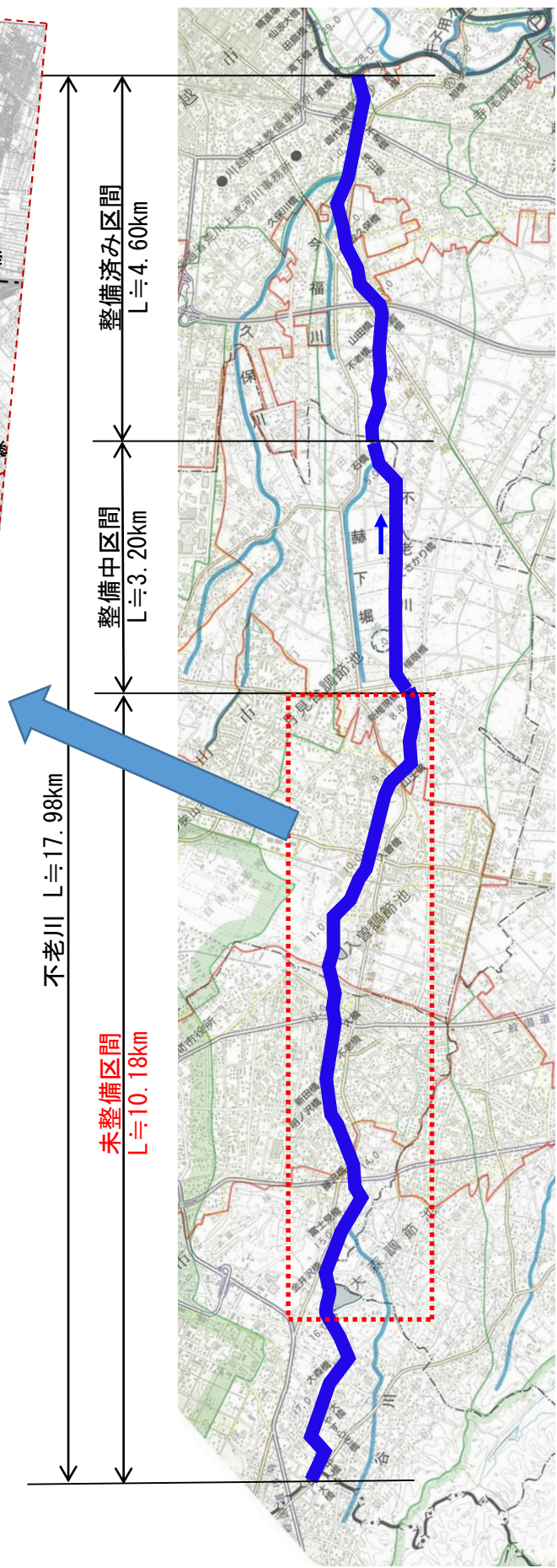
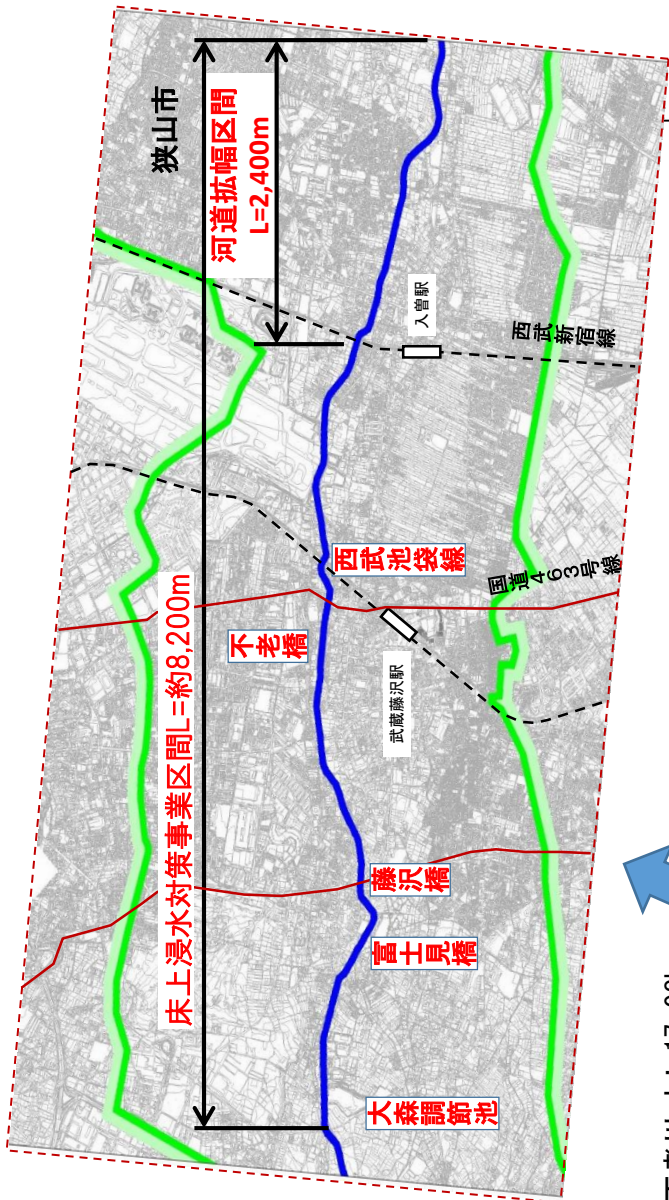
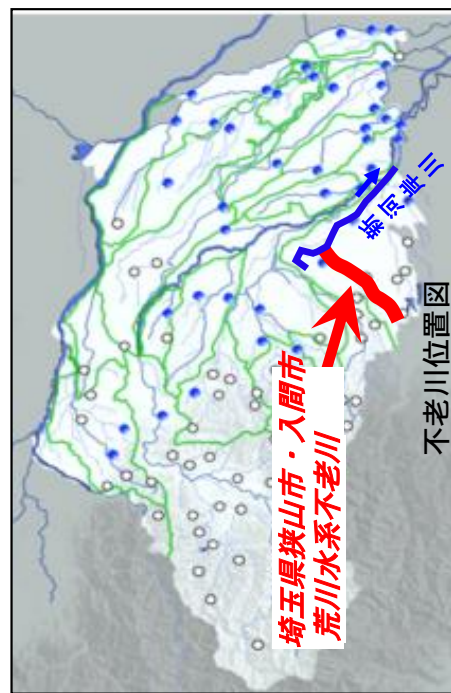


※位置図は国土地理院提供

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	不老川床上浸水対策特別緊急事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 泊 宏	事業 主体	埼玉県												
実施箇所	埼玉県入間市、狭山市																
主な事業 の諸元	河道拡幅・護岸・橋梁架替・調節池整備 等																
事業期間	事業採択	平成29年度	完了	平成34年度													
総事業費 (億円)	約83																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川断面が不十分であり、現況流下能力が低く、浸水被害が頻繁に発生している。 ・平成28年8月22日(浸水被害755戸)に、甚大な浸水被害が発生している。(浸水戸数:平成22年9戸、平成27年2戸、平成28年755戸) <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道拡幅・護岸整備等の実施により、流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図る。 ・平成28年8月台風9号豪雨と同規模の洪水に対して、浸水被害を軽減する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する 																
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:396戸 年平均浸水軽減面積:45ha																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度															
	B:総便益 (億円)	355	C:総費用(億円)	76	B/C 4.6 B-C 279 EIRR (%) 19.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.2</td> <td>~ 5.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.6</td> <td>~ 4.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.2</td> <td>~ 5.1</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.2	~ 5.2	残工期(+10%~-10%)	4.6	~ 4.7	資産(-10%~+10%)	4.2	~ 5.1
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	4.2	~ 5.2															
残工期(+10%~-10%)	4.6	~ 4.7															
資産(-10%~+10%)	4.2	~ 5.1															
事業の効 果等	<ul style="list-style-type: none"> ・河道拡幅・護岸整備等の実施により、河道断面を確保し、流下能力の向上を図る。 ・平成28年8月台風9号豪雨と同規模の洪水に対して、浸水被害を軽減する。 																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年1月31日に開催した「第2回埼玉県公共事業評価監視委員会」において、「緊急整備事業により河川整備を推進する」旨の意見あり。 																

事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	八田川・地蔵川床上浸水対策特別緊急事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 泊 宏		事業 主体	愛知県															
実施箇所	愛知県名古屋、春日井市																					
主な事業 の諸元	【八田川】河道整備、橋梁改築 【地蔵川】排水機場整備																					
事業期間	事業採択	平成29年度	完了	平成33年度																		
総事業費 (億円)	約96																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年9月の台風15号豪雨では、八田川下流において合流先の庄内川の水位上昇などに伴い約1kmにわたり堤防を越水し、八田川との立体交差部より上流の地蔵川では洪水が溢水し、工場19棟を含め99戸において最大1.5mもの床上浸水が発生した。その後も、平成25年度、26年度に同じ地蔵川沿いの春日井市内では床上浸水が発生している。 八田川下流は庄内川と同程度の堤防を必要とし、河道能力が低い地蔵川は洪水の一部を庄内川へ排水する排水機場を必要とする。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 八田川は河道整備・橋梁改築等の実施により背水堤を確保し、地蔵川は排水機場整備等の実施により、流量負担軽減を図る。 平成23年9月の台風15号豪雨と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等災害による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数: 460戸 年平均浸水軽減面積: 24ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成28年度																				
	B:総便益 (億円)	459	C:総費用(億円)	93	B/C	4.9	B-C	366	EIRR (%)	19.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>3.1</td> <td>~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>3.2</td> <td>~ 3.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>3.3</td> <td>~ 3.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.5	残工期(+10%~-10%)	3.2	~ 3.4	資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	3.1	~ 3.5																				
残工期(+10%~-10%)	3.2	~ 3.4																				
資産(-10%~+10%)	3.3	~ 3.6																				
事業の効 果等	<ul style="list-style-type: none"> 八田川は河道整備・橋梁改築等の実施により背水堤を確保し、地蔵川は排水機場整備等の実施により、流量負担軽減を図る。 平成23年9月の台風15号豪雨と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消する。 																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年1月27日に開催した「平成28年度第6回愛知県事業評価監視委員会」において、事業実施は妥当という意見をj得ている。 																					

八田川・地蔵川床上浸水対策特別緊急事業位置図

位置図

